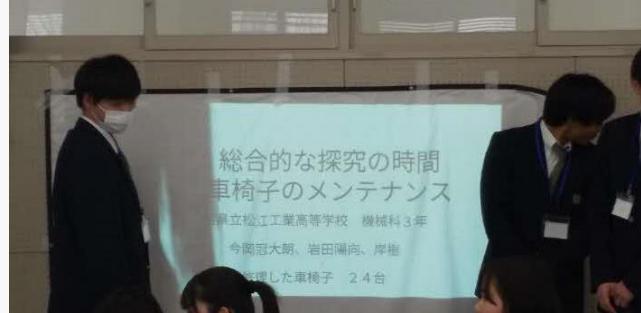


しまね探究フェスタ2025に参加しました。 機械科

令和8年2月10日(火) 機械科3年生3名が標題の企画に参加しました。教科、総合的な探究の時間の成果発表の場として、島根県教育委員会が主催したもので、運営は(一財)地域・教育魅力化プラットホームさんと島根大学の学生さんが行ってくださいました。当日は大雪が残る中、県内37校から多数の高校生が島根大学に集合しました。生徒の移動には貸し切りのシャトルバスが運行され、配布資料はきめ細かく、とても素晴らしいものでした。



他校の生徒に対して発表と対話をを行うという方法で、発表7分に対して対話13分をとり、運営の方のタイムキープのもとでテンポの良い学びの空間が展開されました。

本科の生徒は「車いすのメンテナンス」について発表しました。松江市社会福祉協議会さん、や地域の自転車屋さん等と連携して、施設の車いすの整備を行うという活動です。本科では4年目の活動となり、延べ100台以上のメンテナンスを行ってきました。きちんとした技術の裏付けのもとで整備し、納車の際には説明を行うことで、地域の方々と交流をしながら自分達の学習の振り返りを行う、という趣旨の発表でした。

当日は2回の発表の後、偶然にも松江工業OBであり、現役島根大学の学生さんの発表を聞くことが出来ました。先輩の頑張っている姿を真摯に受け止めて、大きな刺激を受けたようでした。3人とも「いろいろな生徒さんとの交流を通じて、みんなが頑張っていることが分かった。校外の方々と接して、本当に良い勉強が出来て良かった。」と喜んでいました。

このような学びの場を提供してくださった、島根大学の皆様をはじめ、お世話になった方々に感謝しております。本当にありがとうございました。

